2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学・特論Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	仲村剛・川村智広・岩村一成 澤卓実・林了大	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

全国柔道整復学校協会監修 「整形外科」の内容解説過去の国家試験に出題された傾向を元に、頻出疾患について重点的に解説する

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

全国柔道整復学校協会 監修 「整形外科」 松下隆 福林徹 田淵健一 編

《授業外における学習方法》

整形外科学の教科書や国家試験問題を元に各自復習をする

《履修に当たっての留意点》

卒業後の臨床現場で必ず必要になる知識です。しっかり復習を行ってください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染性疾患 骨および軟部腫瘍 急性化膿性骨髄炎を理解する	整形外科学の教科書	感染性疾患 骨および軟部腫瘍 急性化膿性骨髄炎～骨腫瘍導入
		各コマにおける授業予定	感染性疾患 骨および軟部腫瘍 急性化膿性骨髄炎～骨腫瘍導入 p85～p94		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨腫瘍～非感染性軟部・骨関節疾患 良性骨腫瘍～関節リウマチの理解	整形外科学の教科書	骨腫瘍～非感染性軟部・骨関節疾患 良性骨腫瘍～関節リウマチ
		各コマにおける授業予定	骨腫瘍～非感染性軟部・骨関節疾患 良性骨腫瘍～関節リウマチ p95～p105		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	非感染性軟部・骨関節疾患　関節リウマチ～骨粗鬆症の理解	整形外科学の教科書	非感染性軟部・骨関節疾患　関節リウマチ～骨粗鬆症
		各コマにおける授業予定	非感染性軟部・骨関節疾患　関節リウマチ～骨粗鬆症 p101～p114		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天性骨系統疾患 遺伝形式について 体型の特徴 系統疾患～巨人症の理解	整形外科学の教科書	先天性骨系統疾患 遺伝形式について 体型の特徴 系統疾患～巨人症
		各コマにおける授業予定	先天性骨系統疾患 遺伝形式について 体型の特徴 系統疾患～巨人症p114～p125		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨端症 四肢循環障害 骨端症特徴 循環障害概要の理解	整形外科学の教科書	骨端症 四肢循環障害 骨端症特徴 循環障害概要
		各コマにおける授業予定	骨端症 四肢循環障害 骨端症特徴 循環障害概要 p126～p135		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢・下肢絞扼神経障害　下肢の神経麻痺と絞扼神経障害の理解	整形外科学の教科書	上肢・下肢絞扼神経障害　下肢の神経麻痺と絞扼神経障害
		各コマにおける授業予定	上肢・下肢絞扼神経障害　下肢の神経麻痺と絞扼神経障害 p136～p140		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	腕神経叢損傷　分娩麻痺　全身性神経ー筋疾患の理解	整形外科学の教科書	腕神経叢損傷　分娩麻痺　全身性神経ー筋疾患
		各コマにおける授業予定	腕神経叢損傷　分娩麻痺　全身性神経ー筋疾患　p140～p144		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄腫瘍　脊髄損傷　身体部位別各論体幹　頚部　胸部までの理解	整形外科学の教科書	脊髄腫瘍　脊髄損傷　身体部位別各論体幹　頚部　胸部まで
		各コマにおける授業予定	脊髄腫瘍　脊髄損傷　身体部位別各論体幹　頚部　胸部まで p145～p162		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	腰部疾患　分離症　すべり症　椎間板ヘリニア　変形性腰椎症　体性痛と根性痛の理解	整形外科学の教科書	腰部疾患　分離症　すべり症　椎間板ヘリニア　変形性腰椎症　体性痛と根性痛
		各コマにおける授業予定	腰部疾患　分離症　すべり症　椎間板ヘリニア　変形性腰椎症　体性痛と根性痛p162～p169		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩甲帯および上肢疾患（機能解剖のぞく）骨折の手術～腱板断裂の理解	整形外科学の教科書	肩甲帯および上肢疾患（機能解剖のぞく）骨折の手術～腱板断裂
		各コマにおける授業予定	肩甲帯および上肢疾患（機能解剖のぞく）骨折の手術～腱板断裂　p174～p181		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼　肩鎖関節脱臼　肘の骨折・脱臼　靭帯損傷の理解	整形外科学の教科書	肩関節脱臼　肩鎖関節脱臼　肘の骨折・脱臼　靭帯損傷
		各コマにおける授業予定	肩関節脱臼　肩鎖関節脱臼　肘の骨折・脱臼　靭帯損傷（柔理と重複は割愛）　p181～p202		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕の機能解剖　治療方針　手関節の骨疾患の理解	整形外科学の教科書	前腕の機能解剖　治療方針　手関節の骨疾患
		各コマにおける授業予定	前腕の機能解剖　治療方針　手関節の骨疾患（柔理と重複は自己学習）　p202～p215		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	手指の機能解剖　骨盤・股関節の理解	整形外科学の教科書	手指の機能解剖　骨盤・股関節
		各コマにおける授業予定	手指の機能解剖　骨盤・股関節（骨盤、股関節の機能解剖は自己学習）　p209～p215		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頭壊死、変形性股関節症～膝関節、足関節の理解	整形外科学の教科書	大腿骨頭壊死、変形性股関節症～膝関節、足関節
		各コマにおける授業予定	大腿骨頭壊死、変形性股関節症～膝関節、足関節　p226～p229　p230～p264		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	履修範囲の確認を行ない、国家試験同等問題が解けるようになる。	整形外科学の教科書	履修範囲の復習
		各コマにおける授業予定	まとめ		